

KTCの近況（2022年12月）

2022-12-03

白岡克之

（1） 大学への援助金について募集対象を拡大。（年間予算 6百万円）

（前期分 総額 ¥3,193,764- ）

- ・学生の海外派遣援助金申請は無（0円）
- ・外国大学の学生受入援助（台湾国立成功大学2名 ¥93,764-）
- ・学生の自主活動支援（レスキューロボット40万、フォーミュラー50万、プロジェクト福良ギョギョタン・古民家カエ Whirlpool の改修25万）
- ・若手教員への研究プロジェクト支援（建築・技術職員1名、電気電子・特命助教1名、機械・助教1名 計105万）
- ・その他90万を含めて上記の総額 ¥3,193,764-が決定し履行されている。

（後期分 総額 ¥2,806,236- ）

- ・優秀学生表彰や学生海外研修援助について、12月開催の「後期研究委員会」にて協議し決定される。

（2） 新入生の入会率

2022年度新入生の2022/10月現在の入会率および入会者数は次の通りです。

工学部の入会者数 299人、入会率 52.73%（機械 56人、54.4%）

昨年同月より入会者で39人減少、入会率で5.6%減少

（3） 在校生の入会者、入会率の低下に伴い、会員増強を検討・対策を目的として、藤村保夫理事を委員長とし、各単位クラブより選出された委員とで構成した『会員部会』が設立された。精力的に活動され、次の提案がなされて理事会で了承された。

『ここ2～3年の入会率の低下については、対面での入会促進の機会が無くなったことの影響が考えられ、入学時のオリエンテーションで学生への説明を行っても十分なアピールになっていないことが原因と判断した。

（提案1） 学長名での同窓会入会勧誘を全学共通で強く訴えて頂く。

（提案2） 先生方を交えた学生への入会促進機会を検討するために、単位クラブ毎の意見交換会／懇親会を開催して対策を議論いただく。』

一部の単位クラブで実行されて成果を挙げられているところもあるが、理事会では各単位クラブ毎の事情を勘案して検討し、実行していくこととなった。

（4） KTC 機関誌刊行

- ・2022年9月（95号）20,650部 特集「思惑と創造のワンダーランド V.School の進化」（バリュースクール長 玉置 久教授）
- ・2023年3月予定（96号）25,151部 特集「神戸大学工学部100周年記念式典」

(5) **2022年度学内講演会開催**

11月21日(月)工学研究科LR501講義室において、ハイブリッド方式で開催した。
神戸大学バイオ工学研究センター副センター長 西田敬二教授に「切らないゲノム編集技術の開発と応用」を講演頂いた。

(6) **工学部100周年記念事業へのKTC提案について(2022年2月14日)**

工学部100周年記念事業募金における主要、記念事業内容に賛同し、学生を主体とした人材育成のための教育環境整備への支援を行う事を目的に、KTCより神戸大学工学部に寄付を行う。

教育環境整備事業として、工学会館を拡張して、セミナールームを建設し活用することを希望・提案した。これに基づいて8月5日寄付金申請した。

現在、工学研究科、本部施設部において、仕様の作成や、今後のロードマップを協議中とのこと。

(7) **KTCの就職支援活動**

昨年と同様に就職支援を行う予定。

(インターンシップ企業合同説明会)を5月30日に神大六甲ホールで開催した。
オンライン(企業20社)、対面式(企業17社)参加学生(158名)

(リターンマッチセミナー)を9月14日に、大学院不合格者や就活中の学生を対象に、オンライン会議方式で、開催している。 企業(49社)参加学生(34名)

(キャリアセミナー)はzoomによるオンライン会議方式で、ブレイクアウト機能を活用しOB・OGとグループディスカッションを行っている。2022年10月～11月に13回業種別に開催した。 参加企業(52社)

(きらりと光る優良企業)は時期を早めて1月と2月の2回実施する予定です。
2023年1月17日～1月19日(3日間)、2023年2月27日～3月1日(3日間)。

以上